

主な内容

- みんなで取り組む課題----- 2
- 宇治・京都の高齢者事業団の総会 - 3
- 「事業団で働く」を読んで----- 4
- 「事業団で働く」を読んで----- 5
- ひろば----- 6、7
- 五輪中止してコロナ対策を----- 8
- 西から東から ----- 9
- 社会保障情報----- 10
- 行楽：泉涌寺・新熊野神社を散策 - 11
- 編集後記、まちがいさがし解答 ----- 12

発行所

全日本建設交運一般労働組合（建交労）

京都 事業団・高齢者部会

〒601-8103

京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地

TEL075-691-1007 Fax671-1641

Eメール=kenkourou@titan.ocn.ne.jp

発行日 毎月5日 一部30円

NO. 304 (2021年) 7月号



稲荷山の地を這う樹木の根っ子 上林 常哲

みんなで取り組む課題

京都支部

第8回執行委員会が6月16日に開催されました。

最初に、中村委員長から京都市の行財政改革計画(案)で敬老乗車証、国民健康保険などの助成や補助が改悪の方向で見直しが図られようとしている。今後改悪阻止の運動を強めなければならないと訴えがあった。

1、京都支部の活動

- ①宇治分会・労使協議＝5月25日と6月28日に開催。
- ②「事業団・高齢者運動の50年のあゆみ」について全組合員とお世話になつた各団体に頒布する。

2、建交労・事業団・高齢者部会の取り組み

- ①府本部・拡大執行委員会＝6月12日（8人出席）
- 府本部第6回執行委員会＝7月14日（水）
- ②京都総評ハローワーク前アンケート行動＝6月14日、28日に実施。京都支部からも参加。

- ③全国事業団・高齢者部会第3回幹事会＝6月14日（中村）オンラインで行われた。毎年行われてきた「事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会」は10月に行う予定だ

つたが、コロナ禍のため中止となつた。

④全国事業団・高齢者部会第23回総会＝【9月にオンラインで開催予定、代表参加】

⑤中央本部第23定期大会＝8月28日（土）～8月29日 群馬・安中【京都支部代議員・中村】

3、高齢期運動連絡会の取り組み

- ①京都高運連事務局会議＝5月25日
- ②京都高齢期運動連絡会第28回総会＝5月31日（2人出席）
- ③京都高齢者大会第2回実行委員会＝6月18日
「第34回日本高齢者大会＝9月23日・長野」と「第21回京都高齢者大会＝9月23日・ラボール京都」について協議を行う。

4、その他

- 民主府市政南区連絡会再開会議＝6月18日・唐橋公民館
京都高齢者福祉事業団理事会＝5月27日
宇治高齢者事業団第17回定時社員総会＝6月12日
京都高齢者福祉事業団第21回通常総会＝6月19日（土）
ワーク＆ホーム総会＝6月24日（木）
原水爆禁止国民平和大行進＝6月21日（月）山科で引き継ぎ集会【代表参加する】

●今後の執行委員会の開催予定

- 第9回・7月21日（水）
第10回・8月18日（水）

一般社団法人宇治高齢者事業
団第17回定時社員総会

宇治高齢者事業団の第17回定時社員総会が6月12日、開催されました。最初に、定款にもとづいて梅原代表理事が議長となり、挨拶の後、20年度の事業活動として緑化土木・施設管理・駐輪場・総務の各執行理事から報告がされました。いずれもコロナ禍での厳しい中での団員の頑張りで市民に喜ばれる仕事が推移できることが報告されました。また、業務災害については今年度はなかったことも報告されました。

21年度の執行体制では、新しいボストを新設することについて意見が出され、この件は再度理事会で検討することで最後に確認されました。決算報告では、全体としては黒字決算となつたことが報告されました。その後、討議が行われ、宇治ではコロナによる影響は少なかつたが駐輪場を対象とした「改善委員会」

特定非営利活動法人京都高齢者
福祉事業団の第21回通常総会

京都高齢者福祉事業団の第21回通常総会が6月19日に開催されました。が、今年の総会も、コロナ予防による「三密」を避けるため、短時間で運営され、来賓も呼ばれない中で行われました。

総会は、木ノ下専務理事が開会挨拶を行い、議長に木村徹代議員を選出した後、斎藤理事長から挨拶が行われ、その中で、コロナの影響を受けて仕事などにも影響が出たこと、自治体の仕事確保で競争が激しくな

などの活動を重視する。事業団の執行体制を整理する。事業団を継続発展させるための計画を持つ。などの意見が出されました。議案は「新ポストの設置」を除いて、全員の賛成で確認されました。

役員についても提案された全員を選任し、最後に谷理事が閉会の挨拶を行い、総会は終了しました。

議事では、事業・決算報告と方針・予算案提案が行われました。その中で、決算については事業収入は減少したが、事業的には黒字決算と出来たと報告されました。その後、理事の選任がされ、全員が信任されました。最後に川口副理事長の挨拶で総会は終了しました。

事業団運動の意義を各自治体や、多くの人たちに知つてもらおう！



投稿

全国事業団高齢者部会の学習テキスト 「事業団ではたらく」を読んで

組合員の方から「事業団ではたらく」を読んだ後、読後感想が寄せられましたので、一部割愛して掲載します。

働きたい人のための事業団

テキストを読んで『まさにごもつとも。その通り』の一言に尽きる内容でした。その中でも特に印象強かつたのが【事業団は働きたい人のために仕事をつくるのが目的】といふ一言です。この一言で私の中の事業団像にくつきりとした一本筋が通りました。

私が高齢者事業団を知ったのは、1998年当時で、ある事業所でワックスがけの清掃をされているのを見て「素人の高齢者集団が清掃している」というぐらいの希薄なものでした。その後、2000年3月、介護保険制度のスタートと同時に開所した「介護老人保健施設」で、施設管理担当をしている時、新築の建物などで、自分たちが美観を守らなければと、

本当に一生懸命にがんばられ、テキストにも書かれている「団員の第一原則は、責任をもつて、まわりから評価される仕事をする」を文字通り実践されていました。その当時のことを振り返って思い起こすと、団員さんは、意識レベルの高い方で、朝7時から夕方4時までの一連の業務をちゃんとこなせる気力と体力のある、いわば元気すぎる高齢者でした。職員からは、「事業団のみなさんは、よくやつてくれる」という高評価が定着していました。

組合と事業団の関係

今回のテキストを読んで、これまでの自分自身の歩みと、テキストに書かれている内容とが正しくリンクし、「そうか。そうなんだ。」とようやく系統立てて整理できました。特にテキストを読んで「組合と事業団の関係」を正しく理解することができました。民医連時代の感覚では「建交労の運動に事業団の理事者が加わっていることに對して違和感あり?」が私の中でずっとありました。が、組合は仕事を確保するため運動をする場、事業団は仕事を確実に遂行する場、という関係性が理解できました。

私の場合、実は「新入団員教育」を受けないまま今日に至っています。「発注者側」時代に事業団の趣旨や簡単な歴史を知り、勧進橋時代のプレハブ事

務所へ何度もおじやました時のほのぼのとした雰囲気が印象に残っているだけでした。「団員として」現場に入らせてもらつてからも、この人は「事業団のことは分かっている」という周囲のイメージが先行しており、新入団員でありながら古株団員に間違えられることが多かったです。

理運営」がスローガンとしてありました。事業団の非営利・共同の方が言葉の意味を納得しやすく、仕事の中でも具体的に化しやすいように思いました。

発注者が求める作業内容に対して、その遂行能力を發揮できる人材をマッチングし、いわゆる赤字を出さないことを前提として事業を成り立ててい

くのが事業団の経営であると思えました。その中で一人ひとりの能力にあう労働内容を開拓し、みんなで補いながら仕事を遂行していくことを改めて理解しました。とても理想的なスタイルであると思えました。

2012年に事業団であつた入札停止事件をきっかけに、1年半程の間、

「事業団・高齢者運動50年のあゆみ」を頒布します

僅かとなってきた。

そこで全国の貴重な経験と教訓を改めて整理し、全国の仲間がそれぞれの組織の歴史と全国的な運動の意義と成果を学び合い、事業団運動の新たな飛躍を期すために発行された。

京都の事業団・高齢者部会及び京都支部は、労働組合運動の中から作られてきた高齢者事業団やソーシャルサービス協会などの歴史と運動の意義、果たしてきた役割を学び、さらに継続発展させるために、この冊子を組合員全員に頒布し、学習のテキストとする」ことを確認した。

造園の企業へ転出することになりました。その時、事業団の運営がいかに民主的で、

団員本位の立場に立った現場運営をしているかを改めて感じました。外の世界へ出て、事業団のありがたさをが身に染みて感じました。(テキストの6ページの内容を体感しました。)

現状、色々な分野で様々な経験を持つ人が高齢者事業団に集結し、同じ現場で仕事をしています。個々に年齢も違えば、体力や性格、物事の価値観もそれぞれです。それだけに人材が豊富で多種多様な経験を吸収することもできる「世間の縮図」的な組織でもあるように思えます。でも、圧倒的多数の団員が「仕事は真面目に丁寧に、喜ばれる仕事をしよう」とがんばっているところが事業団の魅力だし、これから先も大切にしていかなければならぬと思っています。事業団をはじめ建交労の先輩方が築いてくれた信用や功績を汚すことなく、建交労・高齢者事業団の一員としてがんばり続けたく思っています。



**五輪中止しコロナ対策に全力を
土壇場でもうずまく金と利権、政治利用**

東京五輪について、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会の尾身茂会長は6月2日、国会で「普通は五輪開催はない。このパンデミックで」と指摘。「そもそも五輪をこういう状況のなかで何のためにやるのか。それがないと、一般の人は協力しようと思わない」とズバリ直言した。専門家がこれほどの懸念を示しても菅政権は五輪開催に固執する。

IOC幹部も「緊急事態宣言のもとでも開催」「菅首相が中止を求めても大会は開催」などと発言。日本国民の命よりも五輪第一だ。一方、国内の世論調査では今夏の五輪開催「反対」が8割を超えるものもある。「とても五輪開催は無理」と国民は冷静に見ている。

東京五輪について、政

IOCの思惑

五輪憲章の根本原則は「人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てる」こと。開催国も世界もコロナで苦しんでいるときに感染拡大のリスクをおかして強行するのはおかしい。

IOCの思惑は、放映権料とに財源の両輪のスポンサー収入だ。東京五輪の約半年後の22年2月、北京冬季五輪が控える。東京と北京は同じ東アジアで開催時期も近く、東京が倒れたら、北京に影響が及び、巨大な中国のスポーツサーザーを失う。

総選挙に向けて

IOC幹部も「緊急事態宣言のもとでも開催」「菅首相が中止を求めても大会は開催」などと発言。日本国民の命よりも五輪第一だ。一方、国内の世論調査では今夏の五輪開催「反対」が8割を超えるものもある。「とても五輪開催は無理」と国民は冷静に見ている。

一刻も早い五輪中止決定で、コロナ感染拡大防止に全力を挙げるべきだ。

政府が言い出さなければ、IOCの暴走は止められない。

過去にも5回中止したオリンピック

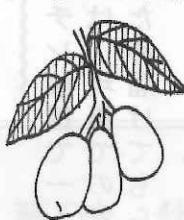
① 1916年第6回ベルリン五輪 第1次世界大戦（1914年7月～1918年11月）によりヨーロッパが戦火に包まれたため。

② 1940年第12回東京五輪 実現していたらアジア初。日本は1923年の関東大震災から復興したことを見外す「復興五輪」と位置づけた。しかし、世界中が第2次大戦に巻き込まれ中止となつた。

③ 1940年札幌冬季五輪第2次大戦で中止。
④ 1944年第13回ロンドン五輪 イギリスやフランスがドイツに宣戦布告し、戦火がヨーロッパ全土に広がったため、開催されなかつた。

⑤ 1944年コルティナダンペツツオ冬季五輪

【宣伝研究7月号より転載】



からから 西東

■全国事業団高齢者部会幹事会

6月14日、オンライン

イン会議で第3回

幹事会が幹事7人

と中央本部から2人

人が出席して開催されました。

当日は、山室事務局長からこの間の経過報告が行われ、続いて各幹事から取り組みの報告がされ、その中で、宝塚と群馬の事業団が「宝塚市雇用福祉事業団」へと名称変更したと報告されました。協議事項は協議の結果次のようなことが確認されました。

◆中央本部の第23回定期大会の部会からの特別代議員は安藤副部会長と神谷幹事を選出する。

◆第59回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会については、10月福島でと確認されていましたが、コロナ禍の中で、感染予防対策を取り、今期は中止することとしました。

◆厚労省交渉は、この時期は困難と云う判断で、代表数人による事務折衝を要請することで確認されました。

◆生活困窮者自立支援制度の全国普

及について。事業団紹介。月刊「建交労」への部会からの投稿。会計報告。などの協議も行いました。

■京都高齢者大会実行委員会

6月18日、ラボール京都で第2回

実行委員会が開かれました。

最初に、山本代表委員から国会が悪法を通して閉会し、法的な要をしながら憲法を変えようとしている。

京都支部から8人が出席しました。会議は、足立副委員長の開会挨拶に続いて、重村委員長が府本部代表としての挨拶を行い、その中でコロナに感染して入院もできず亡くなる仲間が出るのを見て菅政権の政治判断の失敗に怒りを強調された。続いて早田書記長から春闘の「たたかいの総括」と、夏から大会に向けての「方針案」が提案され討論が行われました。討論は、地域支部はじめ各職場でのたたかいで、高齢者、鉄道、トラック・ダンプなどの各部会の取り組みなど5人が発言し、その後、早田書記長がまとめを行いました。

◆第21回京都高齢者大会は9月23日に教育文化センターにおいて開催するが、その内容について協議されました。出された意見を元に事務局で具現化することで確認されました。

◆第34回日本高齢者大会について9月23日に長野で開かれるが、京都の実行委員会と京都高連で代表を数名派遣することで確認されました。

◆来年の第35回日本高齢者大会は京都で開かれることが決まっており、長野での今年の大会後に京都で現地実行委員会を立ち上げ、具現化を図ることが確認されました。

最後に、中村副委員長が閉会挨拶を行い、重村委員長の音頭で団結ガンバロウを三唱して終了しました。



○コロナ禍について、南区役所で
ます。

日本国憲法と地方自治の本旨に基づいて行政を進められるよう、下記の要望事項について申し入れます。

昨年来の、新型コロナ感染拡大という事態の中、南区住民のいのちと健康・市民生活の充実など、行政サービスの向上と区民の安心・安全の施策実現に向けてのご奮闘にこころより敬意を表します。力を合わせて、このコロナ禍を乗り切っていきましょう。

記

社会保障情報

「南区社会保障推進協議会が、京都市長、南区長や南福祉事務所長にコロナ禍の下での生活保障、医療・介護に関する要望書を提出しましたので、紹介します。

も区民の相談に対応できる体制を充実させて下さい。

○すべての区役所・支所に保健所を復活し、医師・保健師を配置・増員し、市民の不安に応える体制を充実させて下さい。

○コロナワクチンについて、対象の区民がより確実に接種が受けられるよう、接種会場の充実や予約の簡素化（予約なしでも接種可能な体制など）に、京都市として改善して下さい。

○南区で新型コロナ感染を心配される方が、安心して医療にかかるよう、PCR検査など体制の強化や、医療機関の「発熱外来」の設置などを、支援して下さい。

○コロナ禍のため生活保護を申請される方に、親身かつ迅速に対応するようにお願いします。必要な方がきちんと利用でき、かつよりきめ細やかに対応できる

よう、広報の拡大や福祉事務所の体制を充実させて下さい。

○コロナ禍のため、より重い負担となっている介護保険料・利用料の軽減を京都市独自に行つて下さい。また減免制度をさらに拡充し、周知を強めて下さい。

○国民健康保険について

①コロナ禍のため、保険料の納付に困難が生じる場合に、保険料の減免などに親身かつ迅速に対応するようにお願いします。また、区民向けの広報を強化して下さい。

②高すぎる国保料を引き下げ、払える保険料にして下さい。国に

対し、公費を大きく増やすなど、抜本的な対策を京都市としてもより強く求めて下さい。

③自営業者への適用や、コロナ禍での対応にとどまらないなど、京都市国保の傷病手当支給の対象・要件・額を拡大して下さい。

行楽

歩いてみよう

泉涌寺・新熊野神社を散策

京都支部 中村 崇

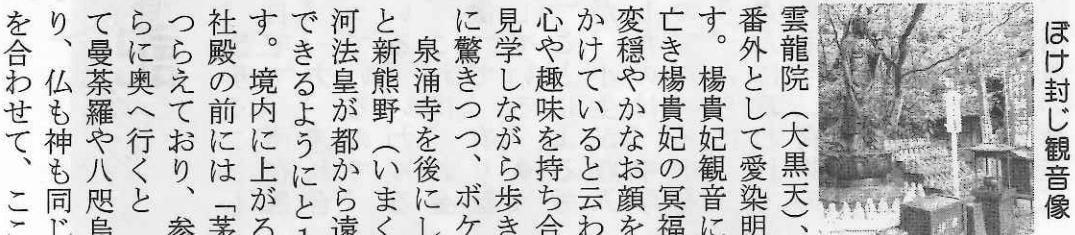
コロナ禍も足腰のため歩こうぞと、近場を無難なく歩いてきました。目的は泉涌寺ですが、成人の日に行われる「泉山七福神巡り」が知られており、その時は賑わい、笹に福をつけて回るそうです。その時期を外したのとコロナ禍のため、人出はまばらでした。

市バスで九条通りから東大路通りに入る所に東福寺があるのですが、今回は次のバス停「泉涌寺道」で下車して、緩い坂道を東へ歩くと泉涌寺の山門があり、その手前に即成院・那須与一が祀られており、七福神の一つ「福禄寿」がありました。

泉涌寺山門をくぐり濃い緑や淡い緑の大きな木々の枝ぶりを見上げ、紅葉の時期はさぞ綺麗だらうなと思いながら散策。重要文化財に指定されている大門まで上つてきてくぐると仏殿が少し下の方に見えますが、いわゆる「下り参道」というそうです。泉涌寺は皇室とのかかわりが強いのか、歴代の天皇・皇后・皇族の陵墓が奥には多くあるようだが、もともとは鎌倉時代に月輪大師(がちりんだいし)が開山し、天台、東密、禪、浄土の四宗兼学の道場として再興されたりました。また、元は「法輪寺」と呼ばれていましたが、境内の一角から清水



泉涌寺の仏殿と舍利殿



ぼけ封じ観音像

が湧き出したことから「泉涌寺」と名 称を改められたようです。

先にも触れた「泉山七福神巡り」を するだけに多くの塔頭があり、即成院 (福禄寿)、戒光寺 (弁財天)、今熊野 観音寺 (恵比寿神)、來迎院 (布袋尊)、雲龍院 (大黒天)、悲田院 (毘沙門天)、法音院 (壽老人)、

番外として愛染明王、楊貴妃観音を含めて九福神もあります。楊貴妃については、楊貴妃の夫である玄宗皇帝が亡き楊貴妃の冥福を祈つて作つたと伝えられています。大変穏やかなお顔をされ、参拝に訪れた人々に優しく微笑みかけていると云われています。御朱印を受けるという信仰心や趣味を持ち合わせていないので、仏像や伽藍の造りを見学しながら歩き、木彫りで運慶作の釈迦如来像の大きさに驚きつつ、ボケ封じ観音像に手を合わせてきました。

泉涌寺を後にして、東大路通りまで降り少し北へ上がると新熊野(いまくまの)神社があります。平安時代に後白河法皇が都から遠く離れた熊野まで行かずとも熊野へ参詣できるようにと1160年に創建されたと書かれています。境内に上がると左手に大樟が立ち、社殿の前には「茅の輪くぐり」の輪がしつらえており、参拝されていました。さらに奥へ行くと「京の熊野古道」と称して曼荼羅や八咫鳥、などなどの造りがあり、仏も神も同じだらうと、ここでも手を合わせて、ここで帰路につきました。

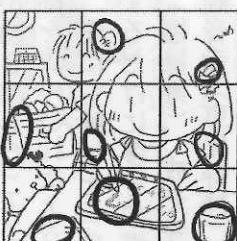
新熊野神社の茅の輪





◆新型コロナ禍の中、出歩くこともままならず、休日は自宅で、所在無くしている時が多い。一方、連れ合いは家事一切を仕切つてているので、家中の中を良く動いている。いわゆる「家事労働」である。これは、お金に換算できない「労働」で、有り難いものと内心で感謝している。◆人間は何らかの「動く」ことによる労働はしているものだが、小生が収入を得るために働きだしたのは、中学2年の時、新聞配達のアルバイトをしたのが最初であろう。さらに、3年時の時に近所のおじさんに誘われて運送会社のトラックの助手（荷物の積み降ろし）の仕事。その時もらつた給料は新聞配達より多かつたのを覚えている。◆中学を出て、京都市内の小さな印刷会社に就職したのが会社勤めの始まりだった。以後、4回印刷会社を変わり、活版の鋳造工

編
後
記
集



まちがいさがし解答

時、生活面で働く
かなければなら
ず、活動面でも
辞める状況でな
かつたため、現
在も働いている
のである。(中)

から文撰、植字工となり、給料を引き上げていった。しかし、他の労働条件は悪く、未組織企業ではダメだと思い、21歳の折に労働組合を作る運動に参加した。◆小さい印刷会社で働きながら、未組織企業で働く人たちに向けての組合作りの活動を続け、同じ年代の若者たちと遊び、飲み、語り合つた。◆30歳の時に、会社勤めを辞めて労働組合の専従役員となり、多くの先輩や仲間たちと共に組合活動に専念した。その中で、未組織企業で労働組合が結成されたときの喜びは大きかつた。一方、会社からの組合潰しに遭つたこともあり、多くのことを学んできた。◆連れ合いに、60歳になつたら仕事をやめると云つていたが、60歳になつた